

野球場と木製遊具が被害 悪質な行為に怒り!怒り!



燃やされたタイヤ木製遊具の無惨な姿

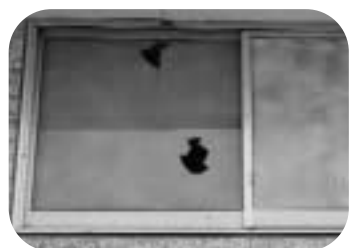


【上】割られたスコアボード。特殊な器具のため6月中旬まで使用不能
【右】電気の配線が切れ火花が差し込まれていました。

道立津別21世紀の森の木製遊具や町営球場の窓ガラスやスコアボードが壊される被害が発生しました。最初の被害は4月23日、男子トイレの窓ガラス2枚、30日には交換した窓ガラス2枚が再び割られました。その後5月1日にスコアボードの電球4個、9日には男子トイレと女子トイレの窓ガラスを3枚、電球9個とソケット器具13個、ベンチの蛍光灯1本を破壊されました。14日にもスコアボードの電球1個を割られました。みんなで使用する公共施設を壊すという許し難い行為、全町民が犯人に怒り心頭です。



なぜ? ベンチの蛍光灯も犯人に破壊



プラスチック製の窓ガラスも割られました



女子トイレの窓ガラスも被害を受ける



丸太の車止めもメチャクチャです!



無惨! 力任せに引き抜かれた野鳥の餌台

5月12日から13日にかけて、津別21世紀の森森林学習展示館周辺でも野鳥の餌台や野鳥観察舎の窓がいたずらされ、警戒を深めています。特に野鳥観察舎は1階部分の木製の窓ふたが12枚中、10枚を棒でこじ開けられ内かぎが曲がってしまいました。学習展示館から500m離れたタイヤの木製遊具が、放火されたからわずか4日後の悪質ないたずらに関係者も、野鳥とふれあう憩いの場を一体どう考えているのか」と怒りと不安でいっぱいです。

絶対、許しません!
森林学習展示館周辺でも発生した悪質ないたずら!



こじ開けられた野鳥観察舎の多数の窓ふた



路面を乾かしながら白線を描く北網紫宝会青年部の皆さん

駐車場の白線がスッキリ
北網紫宝会青年部がボランティア
5月20日、網走管内の若手建築板金業者で構成する紫宝会北網ブロック青年部(12社)が、農業者トレーニングセンターの駐車場で白線引きのボランティア活動を行いました。
今回の活動は、青年部で地域に何か貢献ができればと昨年からボランティアを実施。参加者は雨で濡れた白線をガスバナーで乾かしながら20台分の駐車場に白線を引きました。2時間後、完成した駐車場は見違えるようにきれいになり、青年部会長の中川靖由さんも、「トレーニングセンターを使うみなさんが快適に利用してもらえれば私たちの苦勞も報われます」と話してくれました。悪天候の中、本当にご苦勞さまでした。

5月8日、中央公民館で9カ月検診を受ける赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントするブックスタート事業が行われました。この事業は、絵本に触れ健やかに育ててくれることを願い、親子の絆を深めてもらうことを目的に実施され、今年35組の親子を予定しています。
この日は4組の親子が職員に事業の説明を受け、読み聞かせを楽しんだ後、「くまさんくまさんなみにみているの?」「じやあじやあびりびり」の2冊の絵本とアトバイスの冊子をかわいいバッグと一緒にプレゼントされました。
絵本をプレゼントされた布川的小林希久美さんは「プレゼントは初めて知りました。いろいろ教えてくれるので図書室に行ってみます」と話してくれました。



検診会場で絵本をプレゼントされ笑顔いっぱいです

4月21日、自治会連合会による春の道路一斉清掃が今年も行われ、市街地の20自治体から約1000人が参加し、冬期間に溜まった道路の土砂をほうきやスコップで集めゴミ袋に入れていました。

今回、実施した2時間の清掃で土砂が13トン、ゴミは1トン集められ、トラックとショベルで回収しました。この清掃で冬期間の汚れも一掃され、町中はとてもきれいになりました。
関係者は「一斉清掃により回収経費の節減になる上、行政と町民の方の協働のまちづくりが推進されます」と話してくれました。



みんなの手でまちをきれいに
道路クリーン作戦を実施



協働のまちづくりが推進
市街地で道路一斉清掃を実施

5月12日、「こみゼロの日」にあわせて町内道路のゴミ拾いが行われました。参加した町民約100人は、ふれあい公園パークゴルフ場から広域農道的美幌町境界までに分かれ、道路沿いに捨てられている空き缶や弁当からなどを拾っていました。
今回は2時間でトラック3台分、1460kgのゴミが拾い集められ広域農道はとてもきれいになりましたが、ゴミの中には古タイヤや電化製品など粗大ゴミも含まれており、毎年増え続けるゴミの量に関係者は頭を痛めています。
参加された皆さん、本当にご苦勞さまでした。